

地質ニュース

第528号 1998年8月

口 絵

ザルツブルク近郊の岩塩ドーム内の構造 小川勇二郎・伊藤 孝

特集：外洋における古環境解析と地球環境の変遷

現在そして将来へむけた古海洋研究

—高時間解像度から長時間変動解析— 川幡 穂高・4

生物ポンプにともなう無機元素の挙動

—特にバリウムとゲルマニウムについて— 前田 玲奈・10

海洋古環境変化と陸源物質供給パターンの変化 池原 研・19

海底堆積物の色から海洋環境の変遷を読む 中嶋 健・29

中国景德鎮の磁器原料(2)—カオリン— 須藤 定久・39

淡路島北部における兵庫県南部地震による地変と地震被害

II. 野島断層と野島東地震断層の区別 服部 仁・52

新刊紹介「山の自然学」 荻谷 愛彦・65

立山カルデラ砂防博物館 66

編集後記 67

表 紙

衰退する氷河：アフリカ大陸の最高峰キリマンジャロ(5,895m)は、赤道に近い南緯3度に位置する火山である。その平坦な山頂部には、氷河が発達している。かつては標高3,500m付近まで垂れ下がっていた証拠があるが、現在では4,500m以上まで大きく後退している。地球温暖化の影響か、19世紀以降でもかなりの縮小が観察されているという。山頂部でも、氷が島状に取り残されたり、大きく分断されているのが観察できる。1996年1月撮影。

(写真と文：地質調査所 地質部 中野 俊)

通商産業省 地質調査所
工業技術院

☎305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520, Fax. 0298-54-3504

Geological Survey of Japan

<http://www.gsj.go.jp/HomePageJP.html>